

明野では、現在6つの地区の神社で神楽が奉納されています。どの神社も、春季例大祭で奉納をしています。神楽というと、大人の男性が舞うもの、というイメージが強いかもしれませんが、女子により奉納される舞もあることをご存知でしょうか。(内海)

女子により奉納される舞を「浦安の舞」¹といいます。皇紀²2600年(昭和15年)を記念して作られた舞で、全国で一斉に奉納をするため、日本全国で講習会が開かれました。そして、昭和15年11月10日午前10時に全国で一斉に舞われました。

「浦安の舞」は、昭和8年に天皇が作られた歌が舞の歌詞となっています。

天地の 神にぞ祈る 朝なぎの 海のごとくに 波たたぬ世を

- 1 浦安・・・「うら」とは「心」を表し、「うらやす」は「心中安らか」なこと
- 2 皇紀・・・伝承上の天皇である神武天皇の即位年を元年とした年数



イラスト：松浦洋一

明野では、白山神社(上神取)の人が講習会に出て、「浦安の舞」を伝えました。しかし、その後毎年奉納された訳ではなく、途絶えては復活し、また途絶えて、を繰り返していました。現在は7年前に奉納されたきり、ずっと途絶えたままです。(右の写真は7年前に奉納された時のもの)



このような中、白山神社で、「浦安の舞」を復活させよう、という意見が上がるようになってきました。そして、いよいよ来年の春祭りで「浦安の舞」が復活することになりました！こども神楽教室を毎年実施しているかやぶんも、お手伝いさせていただくことにしました。こども神楽教室に、先生をお招きして、女子の参加者に「浦安の舞」を教えていただくことにしました。現在、明野には「浦安の舞」を教えられる人がいません。先生は、須玉の十五所神社から来ていただきます。



右の写真は、今月行われた第一回の練習の様子です。「浦安の舞」は2つの舞 前半の扇の舞と後半の鈴の舞 で成り立っています。長い緒の付いた鈴や、開け閉めも舞の動作に加わる扇は、今まで使っていた道具とは全く違い、扱いが難しそうです。楽も、耳慣れた太鼓と笛の楽とは違い、雅楽のような、ゆったりとした荘厳な音色をしています。子ども達にとっては、全く新しいものを習う感じなので、苦戦しているように見えたのですが、女性らしい繊細な動き方は美しく、千早と緋袴の装束を着て春季例大祭で奉納される様子を想像すると、今から楽しみで仕方がありません。(右の写真は、「浦安の舞」の装束と道具)



伝統的に「浦安の舞」は白山神社でのみ奉納されてきましたが、今回は白山神社氏子の子ども達以外にも舞を教えていただいています。春には、白山神社以外の神社でも奉納させていただこうと考えています。来春、皆さまの地区の神社でも「浦安の舞」が奉納されるかもしれません。

神楽は、地域で次の世代、次の世代へと伝えていく芸能です。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

明野歴史民俗資料館 第8回企画展

「明野・山梨・そして全国の茅葺き」展終了



7月12日より開催していた第8回企画展が、11月9日に無事会期を終了しました。ご観覧して下さった皆さま、ありがとうございました。

初めての企画展作りで、手探り状態の中での作業でしたが、NPOの会員さんをはじめ、多くの人のご助力によって作り上げることができました。特に、会員の新藤武義氏、上野周茂氏、清水義昌氏、八代謹蔵氏には、大変貴重なお話を聞かせていただきました。上野幸人氏には、お父さまがお使いになっていた茅葺き道具を、甲府工業高等学校様と小淵沢郷土資料館には民家模型を、全国茅葺き民家保存活用ネットワーク協議会様には全国の茅葺き民家の写真パネルをお借りして、展示させていただきました。その他、たくさんの方にお話を聞かせていただいたり、家の内部を見せていただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。

明野歴史民俗資料館では12月より、第9回の企画展を開催するべく準備をしております。詳細が決まりましたら、当紙「かやぶんかわら版」でお伝えします。

八代家ライブコンサートのご報告

Canto de rua のライブコンサート終了

八代家住宅におけるCanto de ruaによるライブが、10月28日に大盛況のうちに終わりました。ご来場くださった皆さま、ありがとうございました。スチールパン・ガットギター・チェロという、温かみのある音色の3つの楽器のハーモニーが、八代家住宅の「木」の感じに合っていて、とても心地の良い空間を作り出していました。今後また八代家住宅においてイベント等がある場合は、かやぶんもお手伝いさせていただきますきたいと思います。



= ドキドキ! まいぶんシリーズ =

12月の予定～

たのしい手話教室



クイズやゲームをしながら、手話を覚えよう
日にち：12月5日(月) 午後5時～7時

はじめての囲碁教室

楽しく囲碁を学ぼう! 初心者でも大丈夫
日にち：12月10日(月) 午後5時～7時

やさしい茶道教室

お茶のお作法を覚えよう。美味しいお菓子もあるよ!
日にち：12月14日(金) 午後5時～7時

Special イベント: 綿から何ができるかな?

糸つむぎに挑戦して、できた糸で小物を作ろう!
日にち：12月15日(土) 午前10時～12時

2007年最後のまいぶんシリーズ お楽しみ会

美味しいお菓子作りや手話の歌で楽しもう!!
日にち：12月18日(火) 午後5時～7時

参加者申し込み受付中です!

お問い合わせは茅ヶ岳歴史文化研究所まで。

TEL / FAX : 0551-25-2019

= ご寄付 =

篠原幸子 様 5,000円 篠原隼子 様 5,000円

遠藤さち子 様 5,000円 仲沢幾恵 様 5,000円

以上の方々にご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

= 会員募集 =

こんなことをやってみたい人は、ぜひ!

歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
イベントを通じてさまざまな人と交流したい

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動してくださる方、ご賛同いただける方を募集しています。

入会金 1,000円

年会費 1,000円

= 編集後記 =

勇壮な舞が人気のあったこども神楽教室では、初の女の子の舞にとまどい気味??

教室も今年で5年目、成長している子ども達に合わせた、新しい綺羅の製作も進んでいます。来春の奉納を、皆様どうぞ楽しみにお待ち下さい。

かやぶんかわら版 第32号

平成19年11月28日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所
〒408-0204 北杜市明野町上手8310
明野歴史民俗資料館内

TEL / FAX 0551-25-2019

ホームページ <http://www.kaya-net.jp>